

学校だより 「花里の子」

令和7年度 第21号 (令和8年1月24日)

伊丹市立花里小学校長 小木曾 笑子

地震の避難訓練を行いました

1995年1月17日午前5時46分、淡路・阪神地域に震度7の地震が発生しました。たくさんの建物が倒壊し、多くの方が亡くなりました。阪神間の学校では、この翌年から1.17の避難訓練が行われるようになりました。阪神淡路大震災で学んだ教訓を忘れないように…と思ってきましたが、30年以上が経ち、この震災を経験した職員の数も少なくなりました。伝えていくことの大切さを感じています。

花里小学校区は、伊丹市内でも被害の大きい地域でした。学校より南側の被害は大きく、たくさんの家が全壊しました。被害にあった家の方が学校の体育館に避難してこられ、避難所が開設されました。水道やガスが使えない期間もありました。子どもたちは、給水場から家まで生活用水を運ぶのが仕事だったそうです。突然やってきた不安で、不便な生活ですが、その中で、人と人とのつながりの温かさを感じることができたとお話を聞くことができました。

日本は、地震の多い国です。ウェザーニュースによると、2025年1月1日～12月28日の期間に震度1以上の地震は4432回もあったそうです。今回の避難訓練では、「揺れがおさまるまでどのように待つのか?」「揺れがおさまったら、どのように避難するのか?」ということを学習しました。訓練しておくことで、実際の地震の時にもあわてずに行動することができます。また、大きな地震があるとどのようなことが起こるのかを知っておくことも安全に避難するために必要なことです。学校でも指導しますが、各ご家庭でも、お子様の発達段階に応じて地震の話をしていただきますようお願いいたします。特に、家族の避難場所や家族とはぐれてしまったときの待ち合わせ場所を決めておいてください。

地震がいつ起こるか分からないからこそ、「いつ起きてもおかしくない」という認識を持ち、避難経路の確認や備蓄品の準備など、日頃からの防災対策を徹底することが重要です。日常生活を送ることができていることに感謝し、災害から命を守る学習を続けていきたいと思えます。



1月の子どもたち

九九道場ファイナル (2年)



2年生が九九道場ファイナルに挑戦しています。かけ算は、たし算で答えを求めることができますが、数が大きくなると時間がかかり、計算ミスが出やすくなります。計算するための道具として使いこなすために確実に暗記しましょう。3年生以上でも、すぐに答えが出ない子がいます。繰り返し練習し、定着をめざしてほしいです。

初めてのミシン (5年)

今年も学習支援ボランティアのみさんにお世話になっています。



季節の行事

書き初め (4年)

新学期早々に各学年が書き初めをしていました。4年生は、画仙紙での書き初めに挑戦です。「一筆入魂」ができるよう、花里ホールに移動してチャレンジしているクラスもありました。立派な作品が出来上がり、3クラス分まとめて3階大ろうかに掲示されています。

1年生は、節分に向けての掲示物を作っていました。鬼の大きな口の中に、自分の目標を書きました。気持ちのこもった立派な作品が出来上がりました。「その鬼、いるよね・・・。」と思わず笑みがこぼれました。教室に掲示されている作品を見比べて楽しんでください。



節分 (1年)



心の中に
いろいろなおにが
いるね。



2学期残食量調査の結果が届きました

12月に実施された給食残食量調査の結果が届きました。本校の残食率は、下の表の通りです。

給食センターでは、子どもたちが必要な栄養を取ることができるよう献立を考え、給食を提供していただいています。栄養教諭の先生方は、子どもたちが食べやすいように味付けを工夫し、食材を選んでいただいています。しかし、子どもたちは、食べ慣れていない献立の時は、箸が進まないことが多いです。中でも野菜は、苦手意識が強くなります。体質やアレルギーのこともあり、何でも食べることが難しくなっていますが、ごはんの残食率は10%以下にならないかな?と 思っています。

【1回目】



献立	残食率
ご飯	12.5%
大豆の五目煮	15.2%
ほうれん草の和え物	19.9%

【2回目】



献立	残食率
ご飯	18.6%
トック	12.4%
エリンギのピリ辛炒め	15.9%



行事予定

行事予定は、
まなびポケットにて
配信しています

